

OBM マンスリー

2015.11月号 Vol.187

2015 年 11 月 25 日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル 2 F

TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145

Eメール info@obm.or.jp

ホームページ www.obm.or.jp

そこが知りたい Q&A 加藤副会長ってどんな人？

今月は加藤副会長の素顔に密着してみました。

Qビルメンテナンス業界に入られたきっかけを教えてください。

加藤) 大学卒業後、大阪勤務を希望しており個人的にも親しみを感じていた大丸百貨店へ就職しました。

大丸で20年間勤務したころ、当時の会社の社長（現会長）より事業継承を請われ、未知のビルメンテナンス業界へ入らせていただきました。



Q協会の仕事で力を入れて取り組んでいる重点課題をお教えてください。

加藤) 教育・研修など人材育成の機会を提供する事と、会員企業相互の親睦・連携には力を入れて取り組んでいます。

Qご趣味やライフワークなどは？

加藤) 趣味は…ありません。強いてあげるならば旅行でしょうか。時間が取ればバカンスとして海外旅行や観光旅行をしたいと思います。

飲みに行くことも好きです。

ライフワークとしては自衛隊の支援活動や国際交流活動に力を入れています。

具体的には『自衛隊音楽隊と集う友の会』の運営や、自衛艦の後援会を通じて自衛隊活動の支援を行っています。

Q海外旅行といえばよくベトナムに行かれているようですが？

加藤) 関空から約5時間でホーチミンやハノイに着きます。

飛行機は常に満席で、ベトナム人気の高まりを感じます。

亜熱帯気候なのでいつも蒸し暑く、30度以上の暑さが年中続いています。

訪越の目的は、この2、3年は JICA*の受託事業を進めるために年間6・7回行っています。

ベトナム人はとても日本人に性格や行動が似ています。勤勉で真面目でプライドを持っていると感じます。

言葉の問題は挨拶の“シンチャオ”=こんにちはと“カムオン”=ありがとうの二つを覚えていれば問題ありませんよ。

Q仕事と協会事業との調整と最後に何か一言お願いします。

加藤) 理事となって10年目となりますのでコントロールできるようになりました。

自社の社員に任せるところは任せています。

最後に、協会が提供する情報や交流の場を是非ご活用いただきたいと思います。

会員企業様にメリットがある事が沢山ありますので、有効に活用してください。

また、お知り合いのOBM未加入企業の方々への入会勧誘も是非ともお願いいたします。

*JICA 独立行政法人国際協力機構（こくさいきょうりょくきこう、英：Japan International Cooperation Agency、略称 JICA、ジャイカ）は、独立行政法人国際協力機構法（平成14年法律第136号）に基づいて、2003年10月1日に設立された外務省所管の独立行政法人。政府開発援助（ODA）の実施機関の1つであり、開発途上地域等の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的としている。前身は1974年8月に設立された国際協力事業団

ズームアップ



防災実践講座を開催して

警備防災部会では、毎年11月頃に大阪市消防局高度専門教育訓練センター（旧大阪市消防学校）において、（一財）大阪消防振興協会の指導により防災実践講座を開催しています。

事前の警備防災部会定例会議の席上、防災実践講座の開催に際し各委員から次のような意見が寄せられました。従来は年2回開催されていたが、最近、部会員の参加が減少傾向であることから年1回の開催となったこと。また、各部会員への案内通知においても、参加した経験のない部会員には講座の内容が理解されにくいこと、部会員であることのメリットが見えにくいことなどです。より多くの部会員事業所からご参加いただけるよう特に前記の点で工夫することとなりました。

各部会員への案内においては、各講習内容に簡単な説明を加え理解されやすくし、また部会員のメリットを強調する内容とした結果、ほぼ昨年並みのご参加をいただいたところです。

今回は、防災実践講座の内容の紹介とともに、特に他の講習では経験することのできない部分についてお知らせすることが出来ればと考えます。

まず、午前中の応急手当の講習ですが、元救急隊員で救急救命士の資格を持った指導員から、心肺蘇生法やAEDの使い方など、救急活動における豊富な知識、

経験に裏打ちされた指導を受けるとともに、普通救命講習の修了証もいただくことが出来ました。

午後の最初の訓練は、消火器による消火訓練ですが、各事業所におかれては水消火器による消火訓練は頻繁に行われていると思います。この講習では、実際に油を燃焼させ粉末消火器で消火することができます。最近では、粉末消火器を実際に放射することは少ないと思いますので、ぜひ経験していただきたいものです。



続いて、屋内消火栓による放水訓練です。1号消火栓、そして2号消火栓による放水を体験いただきました。消防計画に基づく消防訓練の際には、ホース延長のみ実施されている場合が多いと思います。1号消火栓の二人操作による放水、2号消火栓での放水を実践いただきましたが、実際に放水しなければ体験できない放水圧力、1号消火栓を操作する二人の意思疎通と操作のタイミング、あるいは2号消火栓での放水に至る操作手順など、再確認していただけたと思います。

実際に屋内消火栓を使用する時は、消火器では消火できない相当な火勢に発展し、また気も動転しているだろうと考えますので、毎年参加いただき放水体験を重ね、非常の際に備えていただきたいと

思います。

その後、防災センターでの災害対応要領、消防用設備等のうち自動火災報知設備の感知器、誘導灯などの取扱い要領を習得いただいた後、毛布や物干し竿を用いた応急担架搬送要領を学習いただきました。

最後に、煙の性状体験をしていただいたのですが、この施設は実際に消防隊も煙中での消火訓練を実施している施設です。施設内の火災室で実際に木材を燃焼させ、発生した煙を天井に滞留させ、徐々にその煙が溜まっていき、空気との境目が徐々に降下してくる様を見ていただくとともに、体勢を低くして避難することの有効性を体験いただけたと思います。



以上、今回実施した防災実践講座について簡単に紹介させていただきましたが、心肺蘇生法にしても、消火器や屋内消火栓の操作にしても、定期的に経験することが重要だと考えます。警備防災部会では毎年防災実践講座を開催することとしておりますので、部会事業所におかれましても定期的なご参加をお願い申し上げますとともに、平素そういった機会がない事業所におかれましては、特にご参加を検討いただければと思います。

（警備防災部会委員：太尾 猛）

27年度 第5回 理事会

11月6日（金） 協会会議室

1. 審議事項案

- ①各種既定の見直しについて（慶弔既定の見直し案）

2. 審議事項

- ①中間監査について／承認
- ②退会について 関西美装警備株式会社／承認

3. 報告事項

- ①全協報告について

②委員会・部会報告について

③事務局

- ・役員忘年会について
- ・大阪府最低賃金 858円について
- ・「ビルメンテナンス業務にかかる発注関係事務の運用に関するガイドライン」説明会について
- ・ビルクリーニング技能検定補佐員について

- ・ルール及び組合表、当日スケジュールの確認を行った。

2. 日帰り懇親旅行について

- ・参加者名簿及び当日スケジュールの確認を行った。

3. 平成28年度新年会について

- ・各資料確認を行った。

賛助会世話人会

10月22日（木）出席者9名 協会展示室

10月22日（木）開催 ミニ展示会・講習会について

1. ご来場者数 34社58名

2. 「ミニ展示会（6社）」内容について

- ・ケルヒージャパン株式会社『ケルヒャー フロアケアシステム Eco』
 - ・シーバイエス株式会社『究極のハイブリッド管理「FEMS（フェムス）」について』
 - ・丸十服装株式会社『別注ユニフォーム作成システム MADE in ALBIC』
 - ・株式会社万立『新製品 鱗状痕クリーナー「目からウロコ」のクリーナー』
 - ・ユシロ化学工業株式会社『新発想から生まれたユシロ カーペットメンテナンスシステム』
 - ・横浜油脂工業株式会社『医療施設用 耐アルコール性樹脂ワックス』
- #### 3. 「講習会（3社）」内容について
- ・第1部 13時30分～14時15分

経営委員会

10月27日（火）出席者8名 協会会議室

1. 理事会報告について
理事会の議題についての報告を受けた
2. E A21セミナーについて
E A21構築セミナー事前セミナーは6社参加。
3. B C P策定プロジェクト進捗状況について
B C P策定プロジェクトについて、今年度の成果報告を3月頃に発表会（講演会）を実施する事となった。
4. 講演会について
会員企業向けアンケート内容の確認。集計

までのスケジュール確認を実施した。

広報委員会

10月20日（火）出席者8名 協会展示室

1. 「こみゅにけ～しょんず新春号」の内容を確認した。
2. 「OBMマンスリー」H27年10月号の編集作業を行った。

総務友好委員会

10月8日（木）出席者14名 協会会議室

1. 懇親ゴルフコンペについて

シーバイエス株式会社『究極のハイブリッド管理「FEMS（フェムス）」について』

- ・第2部 14時30分～15時00分
株式会社万立『新製品 鱗状痕クリーナー「目からウロコのクリーナー」』
- ・第3部 15時15分～16時00分
ユシロ化学工業株式会社『新発想から生まれたユシロ カーペットメンテナンスシステム』

次回 ミニ展示会・講習会の開催は平成28年2月9日（火）予定。

労務委員会

10月19日（月）出席者12名 協会会議室

1. 労務管理セミナーについて
 - ・実施日：11月30日（月）
 - 場所：OBM6階研修室
 - 内容：メンタルヘルスとマイナンバー制度について
 - 講師：「マイナンバーセミナー」 福西綾美さん
 - 「メンタルヘルス」 片岡頼博さん
2. リスクアセスメント・KYTセミナーについて
3. 各県協会 安全衛生大会について
 - ・奈良ビルメン労働安全衛生大会
 - 日時：11月25日
 - 場所：ホテル「リガーレ春日野」
 - 出席者：下村委員長、岡本委員
 - ・ガラス協会 安全衛生大会
 - 出席者：下村委員長
4. 労災報告について
 - ・9月の災害発生件数：9件（業務災害：7件、通勤災害：2件）
 - ・マンスリー記事掲載には業務災害 アークスクリエイト㈱ 骨折
5. その他
 - ・「ロープ高所作業」での危険防止のための労働安全衛生規則の改正
 - ・転倒災害プロジェクト
 - ・大阪府最低賃金

環境衛生委員会

10月7日（水）出席者10名 協会会議室 第四回委員会

1. 「感染症の脅威」セミナー開催について
 - Ⅰ. 感染症について
 - ホテル、病院関係の清掃者、外国人がよくいる場所を清掃している方は十分な知識を持ち対処していかなければならない。
 - 作業員が二次感染して家に持ち込み、老人や子供（3歳児ぐらゐまで）に感染するのが一番あぶない。
2. 剥離廃液問題について
 - 大田区が2014年度の区が発注する施設の清掃業務委託について、床ワックスの剥離作業を行った際に発生する廃液を産廃として処理するように仕様書に盛り込んでいる。

公益事業委員会

10月21日（水）出席者9名 協会会議室

1. ビルメン社会貢献セミナーについて
 - チラシ追記及び修正箇所について
 - 広報について
 - ・マンスリーやホームページに掲載
2. 障がい者雇用支援スタッフ養成講座
 - 当日までのスケジュール確認を行った。

契約推進委員会

10月15日（木）出席者12名 協会会議室

1. 大阪府・大阪市への要望書に対する回答について
 - 大阪府→9/25に回答
 - 大阪市→10/9に回答
 - ※大阪市の見解 最賃を基準に積算していない。
 - 応札金額の平均以下では落札としていない。など
2. 大阪府ファシリティマネジメント基本方針（案）の意見書提出について
 - ・契約推進委員会として提出
 - ・KKC 岸本氏と曾我委員の意見を追記
 - ※現在、大阪府からの問い合わせ等はなし
3. 各分科会報告事項など
 - 積算分科会：次回委員会にて大阪市水道局の積算資料（風間委員作成）を提出し意見交換
 - インスペクション分科会：大阪市の履行確認マニュアルとインスペクションとの違いを検証（宮本委員）

ビルクリーニング部会

10月23日（金）出席者21名 協会会議室

1. 班別 名簿 確認について
2. ビルメンヒューマンフェア2015 I N北海道視察について
 - 9/15～16 ビルメンヒューマンフェア視察終了 計34名
 - 取材レポートの確認を行った。
3. DVD 作成について
 - H7年度分 KKC作成「ビル清掃作業の基本」について説明
 - これを元に、今期作成DVDの「概要」「撮影場所、シチュエーション」「収録項目」について構成案の説明

警備防災部会

10月16日（金）出席者10名 協会会議室

1. 警備防災部会全体集会について
 - 11/4（水）警備防災部会全体集会
2. 防災実践講座について
3. 事故事例集について
 - 発行済 事故事例集の一本化は無しとなり、クレーム事案集のみ作成となった。
4. 見学会について
 - 年2回（春・秋）の実施で検討している。
5. 適正な警備業務の実施対策等について
 - 必要な法令・出入管理、不審者（物）に対する着眼点・緊急事案対応等の説明があった。

設備保全部会

10月13日（火）出席者13名 協会会議室 第4回設備保全部会

1. 各小委員会活動報告について（管理技術調査研究）
 - ・「機械警備の技術情報及び基礎技術」についてセコムとの打合せを終えて東西交流会には発表する。
 - 年度内に内容をまとめレポートを発行する予定である。（研修・見学会）
 - ・東西交流会の施設見学をUSJに決定し細部の打合せ及び調整を行っている。（設備保全業務研究）
 - ・地震発生対応マニュアルガイドラインの確認がとれたので10月末までに発行予定。
2. 東西交流会について
 - ＜日程＞

11月12日 情報交換会 13：30～懇親会 18：00～11月13日施設見学→USJに決定

＜会場＞
情報交換会：OBM新清風ビル3F、4F
懇親会：「白楽天」阪急グランドビル27F
宿泊先：サンルート梅田

＜役割分担について＞

- ・分科会
- テーマ1→担当：管理技術調査研究「機械警備について」
- テーマ2→担当：東京協会「ビル統括管理責任者について」研修見学会が参加
- テーマ3→担当：設備保全業務研究「設備安全について」

＜施設見学会＞

- ・施設見学会→担当：研修見学会

＜その他＞

- ・情報交換会、分科会、懇親会の席次表を事務局にて作成
- ・最終名簿の作成を事務局にて作成
- ・冊子を11月5日に作成予定
- ・KKC岸本様がテーマ2の「ビル統括管理責任者について」の討議に参加予定。
- ・懇親会に佐々木会長が出席予定。
- ・次回28年度の東西交流会開催を東京の提案を受け入れ4月開催にて受諾する方向で確認。

近畿地区本部だより

●**第21回世界ビルメンテナンス大会（2016年4月東京大会）参加登録募集開始について**
第21回世界ビルメンテナンス大会について、国内の参加登録募集を11月1日より開始致します。
会員各位宛には、別途「申込用紙」付き「参加登録のご案内」をお送りするとともに、月刊誌同梱物として直接ご送付しております。

- ・申込方法：大阪ビルメンテナンス協会会員の方は事務局までお申込下さい。
- ・登録料について：（※お申込後、請求書をご送付申し上げます。ご入金後の返金は致しません。）
正会員会議登録60,000円
正会員の同伴者登録40,000円
（ガラディナーにお申込されない場合は、20,000円割引されます）
- ・締切日：2016年2月5日（金）迄

●**建築物清掃管理評価資格者（ビルクリーニング品質インスペクター）制度変更に関するご案内**
インスペクターをより多くの建築物所有者・維持管理権限者、建築物の使用者・利用者等に認知・活用いただくために、

1. 分かりやすい資格制度にすること
2. 品質管理状況の報告及び改善提案の内容を加え
3. より実施に密着した高い技能・知識を身につけていただくこと

などを基本コンセプトとして、建築物清掃管理評価資格者制度の大幅な見直しを致しました。

＜主な変更点＞

1. 2級P（作業品質）、2級M（組織品質）、1級の資格体系を一本化します
2. 上記変更に伴い、1級取得までに3年～6年を要した期間を約8ヶ月で取得可能とします
- ・事前課題を廃止
- ・修了課題を2件から1件へ減
3. 2日間の講習会を3日間とし、作業品質と組織品質を同時に受講とします
4. 受講料を6万円（税抜き・会員）とします
5. 登録制度は廃止しました。本制度の活用・

啓発の観点から、資格者を公開することと
します（個人情報の保護には万全の体制で
実施します）
6. 永久資格を4年間の有効期限のある資格と
します。

●平成27年度ビル設備管理技能検定（1級・2
級）と、平成27年度病院清掃受託責任者講習
の合格者が発表されています。
ビルメンアビリティセンター [http://www.
j-bma.or.jp/study/index.html](http://www.j-bma.or.jp/study/index.html) をご確認ください。

●医療関連サービスマーク書類作成説明会のご
案内
・開催日時 12月21日（月）13:00～17:00
・会場 （一社）大阪ビルメンテナンス協会
研修室
・参加対象 医療関連サービスマーク（院内清
掃業務）の更新予定事業者の申請
担当者、または、これから認定申
請を希望する事業者の申請担当者
・参加費 会員1名3,240円（会場費・資料

代等として。消費税含む）
・定員 20名
・申込締切 12月10日（木）
※送達文書にてご案内いたしますが、詳細は事
務局までご連絡ください。
ホームページからダウンロードもできます。
(<http://www.obm.or.jp>)

事務局からのお知らせ

●新年会開催のご案内
FAXでもご案内しておりますが、会員相互
の親睦を深めるため、新年会を下記により開催
いたしますので、多数ご参加下さいますようお
願いいたします。
・日程：1月8日（金）12時～14時
【受付11時30分より】
※名刺を頂戴いたします。
・会場：帝国ホテル大阪 3階 孔雀の間
大阪市北区天満橋1-8-50
TEL 06-6881-1111
・会費：会員1社につき1名は無料、左記以

外の方は1名につき12,000円
※お席を指定させていただきますの
で、出欠のお返事は12月4日（金）
までにご返信をお願いいたしま
す。

会員だより

●代表者変更
〔正会員〕
・株式会社サンケイビルメンテナンスサービス
（新）代表取締役会長 鮫島眞一郎 様（専任）
代表取締役社長 高畑 英夫 様
（旧）代表取締役会長・社長 鮫島眞一郎 様
（平成27年9月24日より）
●退会
〔正会員〕
・関西美装警備株式会社
（平成27年10月30日付）

講習会お知らせ

教育センターだより

（公財）日本建築衛生管理教育センター講習
会予定

●統括管理者（再）
・受付期間 平成27年11月30日（月）～12月4日（金）
・実施期間 平成28年1月14日（木）～15日（金）
●清掃作業監督者（新）
・受付期間 平成27年12月1日（火）～7日（月）
・実施期間 平成28年1月12日（火）～13日（水）

●貯水槽清掃作業監督者（新）
・受付期間 平成27年12月15日（火）～21日（月）
・実施期間 平成28年1月26日（火）～29日（金）
●建築物環境衛生管理技術者
・受付期間 平成27年12月17日（木）～24日（木）
・実施期間 平成28年2月23日（火）～3月11日（金）
●空調給排水管理監督者（再）
・受付期間 平成27年12月18日（金）～25日（金）
・実施期間 平成28年2月8日（月）

●清掃作業監督者（再）
・受付期間 平成27年12月18日（金）～25日（金）
・実施期間 平成28年2月10日（水）
☆いずれも阪急千里中央ビルにて

※申込期間中、早めにお申し込み下さい。
用紙のダウンロード・お申し込みは公益財
団法人日本建築衛生管理教育センターへ。
（ホームページ [http://www.jahmec.
or.jp/](http://www.jahmec.or.jp/)、TEL 06-6836-6605）

長寿仁保日が崩れつつある

理事 名渡山 隆

ジンベイザメやナンヨウマンタが泳ぐ巨大水槽「黒潮の
海」で有名な「美ら海水族館」から車で20分、本部半島の
北東部にある沖縄県国頭郡今帰仁村がわたしの故郷です。
村の周辺にはサトウキビ畑、サンゴ礁の海、世界遺産に登
録された今帰仁城跡しかありませんが、気候温暖でゆった
りした気分でも過ごせるのどかな村です。

沖縄は、伝統的な食生活によって世界的な長寿地域でも
ありますが、それが危うくなって来ています。

かつては、サトウキビが主な生産物で、野菜はニガウリ
とニガナを除くとほぼゼロ。野菜の代わりに海藻類の消費
量が多く「南海の昆布王国」と言われたほどでした。日本
産の昆布を中国に輸出する中継地であったため、昆布を野
菜代わりに利用する食文化が生まれたのです。

昆布も確かに長寿に大いに貢献しましたが、決定的な長
寿の要素は塩です。なにしろ、一日の塩分摂取量が少ない
のです。男性9.5グラム、女性8.1グラムが沖縄の平均摂取
量です。（日本人の平均は12～13グラム）

このため、ガン、脳卒中、心筋梗塞などの生活習慣病が
少なく長寿王国を築き上げてきたのです。

50年あまり前、村には「オジィー」や「オバァー」が大勢

いました。大阪に移り住んでから沖縄に帰る機会はあまり
なかったのですが、今帰仁に帰るたびに「オジィー」や「オ
バァー」の姿を見かけることが少なくなっていました。

戦後、日本の食生活が急激に変化し、高カロリー、高脂
質となりましたが、さらに沖縄では、公共交通機関が少な
いため、マイカー生活が始まり運動不足、肥満増加となっ
て行ったのです。

ほかにも「ユイマール…（相互扶助）」「イチャリバチョー
デー…（兄弟のように仲良く）」の心が失われたとも言わ
れています。

長寿日本一といわれた沖縄も、いまでは肥満率が全国
トップとなり「糖尿病王国」となりそうです。

生活習慣の改善を目指し、減塩運動や野菜の摂取増に取
り組んで来たこと、また、高齢者の就業率の高さやボラン
ティア活動の盛んな長野県に、長寿日本一の座を奪われて
しまいました。長寿とは健康なだけではなく、しっかり働
けることも必要なのでしょう。

サラリーマン人生が終われば、今帰仁に帰ろうかと考
えていたのですが、気候温暖でゆったりとした気分でも過
すことになれば、長年培って来た怠惰な生活を続けること
になりそうです。いま以上に怠惰な生活を続ければ、長寿
とはますます縁遠くなりそうで、今帰仁に帰るか悩んでい
ます。

予想の斜め下から切り込むBCPコラム第三章。前回は企業のBCPを支える個人のCCP（コミュニティ継続計画）の重要性を示唆しました。さて、前回カタギとヤクザの違い（家業と共同体をもつ人々とそれと縁を切った個人）を提示し、現代サラリーマンはヤクザに近い位置にあることを示しました。しかし現代に限らず、都市の形成は「縁」を切った人たち、無縁の人々によって担われる事は、著名な中世史研究家網野善彦氏も主張する通りです。その時代特有の「縁」があり、その「縁」を切って別の生き方を創り出した人たちが、新しい「有縁」の社会のかたちを成立させていく…。その意味では戦後社会は企業が「金の卵」と呼んだ農村部からの青年層が企業と「有縁」の社会を都市で形成していった過程と捉えてもよいと思います。

前回は提示した様に、企業と従業員は労働と貨幣の交換を軸とした関係を中心としています。その意味ではBCP（事業継続性）が想定外の事象が発生した際に、事業の継続性を重要課題として捉える事は、全くもって正当なことであるといえます。

ただし、人間には現代社会の主な「有縁」の有り方（貨幣交換）からこぼれ落ちる要因をいくつも持っています。その一例が家族であることを前回提示しました。

また、過酷な自然環境についてもそうです。テロ等の人災対策からBCPが生まれたイギリスと違い、地勢的環境（台風、豪雨、地震、津波、豪雪、噴火等が繰り返し発生する）の過酷さから、企業の対応範囲を超えた自然災害との関わり方を考えざるを得ません。では、BC

Pの対象範囲からこぼれ落ちるこれら要因に対してどう対処したら良いのか。

世界各地の災害地を訪問・調査している防災・危機管理アドバイザー山村氏は、世界各地で災害ゴーストタウンを見てきたと言います。ひとたび大災害に襲われると将来も同じ災害が起こると悲観し、人々は災いの地を離れようとする、それが普通であると。しかし日本人の資質は違うと言います。厳しい過酷な災害に襲われても父祖伝来の地を離れない。厳しい災害が繰り返し襲う地であろうと、一生懸命に復旧・復興させようとする。「自力復興」を原則として一人ひとりの力では乗り越えることが困難な大災害には、皆で力をあわせ、助け合い、励まし合って復興させてきた。「逃げず、諦めず、怯まない」勇気と粘り強い精神力という資質が、慮り、いたわり合い、助け合いの日本人の礼節を育んできた。第一章で提示した、日本には創業百年以上の企業が10万社以上あるという事実はこのような日本人の資質なしには到底成し遂げられないでしょう。

第一章から第三章までのまとめとして『BCPの事はよくわからないけど、それに組んでおけば大丈夫だろう。』というスタンスではなく、BCPで本質的に対象とする部分とそうでない部分をよく認識し、BCPからこぼれ落ちる部分に関しては過去の我々祖先が育んできた「自力復興」の歴史をよく学び、活かす事が大切です。我々の中には確かに、災害に立ち向かう資質・魂・礼節が備わっているのだから。

第7回ビルメン社会貢献セミナーのお知らせ

12月に「ビルメン社会貢献セミナー」を開催いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加お願いいたします。

- ・日 程：12月14日（月）13時～16時30分まで
- ・会 場：大阪科学技術センター
大阪市西区靱本町1-8-4
- ・内容(予定)：

「障害者差別解消法について」

大阪府立大学大学院教授 関川 芳孝氏

「外国人技能実習制度について」

ワイズネット事業協同組合 専務理事 豊田 崇志氏

※詳細は事務局までお問合せください。

(公益事業委員会)

速報!! 第9回 ビルメンこども絵画コンクール 審査結果発表!

全国ビルメンテナンス協会主催の「第9回 ビルメンこども絵画コンクール」(応募総数11,719点)の審査結果が発表されました。

大阪府下では 特別賞4名、廣岡 心 さん(羽曳野市立恵我之荘小学校)が 日本建築衛生管理教育センター賞、武市侑士 さん(宮崎絵画教室)川田 陸翔 さん(大阪市立中川小学校)が シーバイエス賞、鯛谷 真央 さん(大阪市立みどり小学校)が 審査員賞 を受賞されました! おめでとうございます!

その他にも、銀賞2名、銅賞24名の方々が受賞されました。おめでとうございます。

審査結果は、全協ホームページ http://www.j-bma.or.jp/concours_top/prize.pdf でご覧いただけます。

KKCお薦め講習会（12月・1月）

12・1月実施予定のKKC主催の講習会は次のとおりです。受講希望の方は、申込書をKKCホームページ（<http://www.bmkkc.or.jp/>）よりダウンロードし、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みくださいますようお願い申し上げます。

●防除作業従事者研修

建築物ねずみ昆虫等防除業（7号登録）の知事登録業者として定められた「防除作業従事者研修」として、厚生労働大臣より登録を受けたKKCが実施するものです。修了者には事業登録申請の際に使用できる「修了証書」を交付します。

＜日 時＞平成27年12月3日（木）9時20分～17時

＜会 場＞新清風ビル（中津）講習会場

＜対 象＞「建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）」第12条の2第1項第7号の登録を受けている事業所及び受けようとする事業所の従事者

●ビル設備管理コース（大阪府認定職業訓練）

電気・空調・給排水各設備など現場での保安全管理に必要な知識を身につけていただく講座です。これからの時代に必要だと考える、設備担当者としての心構えや省エネ対策、危機管理意識、積算・コスト管理の考え方などについてもお話しします。修了者には職業能力開発促進法に基づく大阪府知事の「認定訓練修了証」を交付します。

＜日 時＞平成27年12月8日（火）・9日（水）・10日（木）

【計3日間】13時～17時

＜会 場＞新清風ビル（中津）講習会場

＜対 象＞新人クラスの設備管理業務従事者など

●ビルクリーニング技能検定 床作業最終チェック講座

実技試験3課題のうち「床表面洗浄作業」のみの、最終仕上げ直前練習です。本試験と同じ会場・資機材・制限時間内で2回練習を行い、ご自身の練習の成果を最終チェックしていただき、さらに講師陣が合格のためのアドバイスをします。

＜日 時＞平成28年1月7日（木）／1月8日（金）

各回12時50分～17時

＜会 場＞新清風ビル（中津）講習会場

＜対 象＞平成27年度ビルクリーニング技能検定受検予定者

～実技試験対策におすすめ！～

ビルクリーニング技能検定・実技作業試験対策用教材

『最新版 合格への近道』（DVD+CDセット）

床・ガラス・カーペットの実技3課題の手順とポイント、標準時間内作業、資機材の使い方の基本を紹介。同梱CDにはDVDの内容を記載したテキストをPDFファイルで収録。

【仕 様】DVD（約118分）+CD

（PDFファイル）

【販売価格】最終価格3,500円

※送料込・税込



一般社団法人
関西環境開発センター

申込・問合せ先：一般社団法人関西環境開発センター（KKC）
教育訓練部

電話：06-6372-9123

FAX：06-6450-8038

E-MAIL：bmkkc@swan.ocn.ne.jp

URL：<http://www.bmkkc.or.jp/>

ビルメン情報プラザ Obit（オービット）通信

新刊のご案内

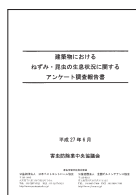
- ・建築物における ねずみ・昆虫の生息状況に関するアンケート調査報告書

害虫防除業中央協議会

【(公社)日本ペストコントロール協会、(公社)全国ビルメンテナンス協会】

TEL：03-5207-6321 FAX：03-3805-7560

平成27年6月発行



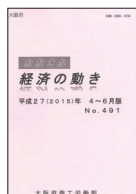
- ・おおさか 経済の動き 平成27(2015)年4～6月版 No.491

大阪府商工労働部

(大阪産業経済リサーチセンター)

TEL：06-6210-9937

平成27年9月発行



- ・2015年度版 なにわの経済データ統計でみる大阪経済の現状
大阪産業経済リサーチセンター発行
TEL：06-6210-9937
平成27年9月発行



- ・第74回 全国産業安全衛生大会 研究発表集
中央労働災害防止協会発行
TEL：03-3452-6402
平成27年10月28日発行



※ビルメン情報プラザ Obit（オービット）では、閲覧のみになります。

購入ご希望の方は、発行元にお問合せ下さい。

開館時間 10:00～16:00（土・日・祝休）

会議等でご利用になれない時もありますので、ご利用の際は事前にお問合せ下さい。

O B M行事予定

11月	25	水	BCP策定プロジェクト	KKCビルクリーニング技能検定実技試験対策講座
	26	木		〃
12月	27	金	環境衛生委員会	「感染症の脅威」セミナー
	28	土		
	29	日	ビルクリーニング技能検定実技ペーパー・学科試験	(大阪国際会議場)
	30	月	労務管理セミナー	
	1	火	経営委員会講演会	「強い会社の「凄い」共通点」
	2	水	ビル設備管理初任者のための基礎教育講習	(～3日)
	3	木	広報委員会	KKC防除作業従事者研修
	4	金	理事会	
	5	土		
	6	日		
	7	月	労務委員会	環境衛生委員会
	8	火	ビルクリーニング技能検定受験準備講習	水準調整会議
	9	水	ビルクリーニング技能検定受験準備講習	(実技、～15日)
	10	木	KKCビル設備管理コース	(～10日)
	11	金	契約推進委員会	
	12	土	総務友好委員会	KKC監事会
	13	日		
	14	月	ビルメン社会貢献セミナー	(大阪科学技術センター)
	15	火	KKC理事会	
	16	水	警備防災部会(別会場)	公益事業委員会
	17	木	広報委員会	ビル設備管理科訓練1級実技・2級学科
	18	金	ビルクリーニング部会	ビル設備管理科訓練1級学科・2級実技
	19	土		
	20	日		
	21	月	設備保全部会	サービスマーク書類作成説明会
	22	火		
	23	水	天皇誕生日	
	24	木	BCP策定プロジェクト	

労務委員会 労働災害事故事例 (H27年10月度発生分より)

1. 業務災害及び通勤災害数

- ①報告企業数 58社
②業務災害数 15件
③通勤災害 4件
- [内 訳] 1ヶ月以上休業見込み 4件
15日以上休業見込み 2件
14日未満休業見込み 9件

2. 事故事例

- ①発生日時 H27年10月17日(土曜日) 午前8時30分ごろ
②発生場所 枚方市 牧野区北町付近
③発生状況 トイレ清掃の際、洗面台の上に乗る鏡の上の方を拭いている時、足を滑らせ床に転落、後頭部と右半身を打撲した。
④けがの状況 右手踝骨折 休業15日以上。
⑤原因及び対策 洗面台鏡の上部を清掃しようとする際に、本来ならば踏み台または脚立を使用するところを、洗面台に直接乗って作業しようとした不安全行動が直接の原因である。
再発防止対策としては、正しい作業手順の徹底を図ることの一言に尽きる。日常的にこういう不安全行動がないかの、戒めとし水平展開して安全強化を図ってほしい事案である。

11月は、労働保険適用
促進強化期間です

労働者を1人でも雇っている事業主は
労働保険に加入する義務があります。

知らなかった社長。
知らんぷりの社長。
どちらも社長失格です。

正社員、派遣、パート、アルバイト、雇用形態に関わらず、
1人でも雇ったら労働保険に入る必要があります。
事故や災害があった場合、労働保険に入っていないと、
想像以上の負担が会社にかかることもあります。
働く人とその家族だけでなく、会社を守るために、
労働保険にすぐ加入を。

大阪労働局
労働保険適用・事務組合課 (06-4790-6354)
雇用保険課 (06-4790-6320)
大阪労働局ホームページ
<http://osaka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp>

おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナーへの
投稿を募集しています
●題材・・・自由。
協会への提言、季節雑感、詩、短歌、
俳句、川柳等々、何でも結構です。
●字数・・・15字×16～19行の間に、本
文、会社名、筆者名を全て記入して下
さい。

編集雑感

今年の1月に外国からの観光客が増えているという話を雑感に寄稿しました。昨年の外国人観光客は1千4百万人でした。今年は9月末時点で、1千4百万人を越えました。普段の生活の中にも東京、京都や大阪にいれば否応なしに観光客の団体とすれ違ふことが多くあります。都心の電気店に行けば、中国語だけでなく、韓国語のほかにも色々な言語で話している方々とすれ違ひます。中国語や韓国語だけではなく、聞いたことがない言葉もよく耳にします。ここ数年海外にも縁があってアジアの国々に訪問するようにな

ると、それぞれの国の違いが、少しずつ分かるようになってきました。
先日道頓堀へ立ち寄った際に、びっくりしたことがあります。道頓堀にお土産屋さんがたくさん立ち並んでいました。どこかで見た光景によく似ていると思い、店にたちよって眺めていたら、思い出しました。昔、日本人が大挙してツアーで訪れていたハワイやグアムのお土産屋さんのように。現地の人はそこでは買物しない、いわゆる外国の観光地向けお土産屋さんにとってもよく似ていました。普段行きなれている店では見ない高そうな商品が、そこそこの値段で張られていました。おそらく日本人もハワイなどでこうやって高い買い物をしてその現

地に貢献してきたのかなと、変に納得してしまいました。ただし、そこでは、日本にきた観光客は時間も少ない中、楽しんでたくさん買物して帰るのでしょう。日本人にとってはとてもありがたいことです。
ちょうど前の原稿を書いた後程から、爆買という言葉がニュースやテレビ、新聞に出て来ました。今年の流行語大賞でも取ろうかという勢いです。流行語大賞をとった一発屋芸人のように消えずに、もっと長くこの爆買の勢いが続いて、東京オリンピックまで勢いづいて欲しいですね。
(T. K)